平 成 ２９ 年 度
一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会
事 業 計 画 書
作成者：竹花康太郎

（事業期間：平成２９年４月１日から平成３０年３月３１日まで）

Japan Deaf
Athletics Association

一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会
事業計画基本方針

今年は７月１８日からトルコサムスン市で第23回夏季デフリンピック大会（以下、ＤＰとする）が開催されます。当協会は、デフリンピックをはじめ聴覚障害スポーツの知名度を一層推進していくためには、まずは2017年度のＤＰを通して啓発をしていき、2020年に日本で開催するオリンピック・パラリンピックの中で実施する予定の啓発運動そして同年度の10月に開催する予定の第4回世界ろう者陸上競技選手権大会などを見据えて、啓発・普及・強化・発掘事業を取り組んでいくことが重要になってきます。このような視点に立って、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの後には、多くの聴覚障害者が身近な地域でスポーツができる環境をつくっていくことが、当協会としての役割だと考えます。そのためのこれからの４年間は大変重要な時期です。
平成29年度は、このような状況の中で下記の基本方針を定めて、新たな事業をも含めさらに一層充実した事業計画を策定し、聴覚障害者障害者陸上の振興を推進していきます。

１基本方針
（１）障害者スポーツ（聴覚障害者陸上）の地域振興の推進をします。
（２）デフリンピック大会での競技環境の整備・理解啓発事業を推進します。
（３）競技力向上に向けて選手及び役員を支援します。
（４）２０２０デフスポーツデベロップメントプロジェクトの発足
（５）パートナーシップ協定などに向けて企業・団体等と新たな連携を推進します。
（６）協会の運営体制の充実そして組織体制を強化します。

２重点事業
（１）障害者スポーツ（聴覚障害者）の地域振興の推進
聴覚障害のある人がより身近なところでストレスなく練習や競技に打ち込める環境を整備するため、選手が拠点においている区市町村や地域スポーツクラブ、施設等と協働事業を実施していく。今後、より一層地域での練習や競技の環境を推進するように、当協会と地域センターが一体となって継続的に進めるとともに、協働実施した事業の地域での定着化を進めます。また、地域の競技場または体育館の利用を促進するためのマニュアルを活用し、身近な地域の体育施設の利用促進のための環境整備を進めます。
日本陸上競技連盟が契約している味の素ナショナルトレーニングセンターを利用できるように日本陸上競技連盟と話を勧めていきたいと思っている。

（２）デフリンピック大会の理解啓発事業の推進
聴覚障害者のオリンピック「デフリンピック」で世間から注目されるような成績をおさめなければならないと考えます。選手がデフリンピック大会で良きパフォーマンスを発揮できるような環境整備そして円滑な運営がはかれるように整えていきたいです。またデフリンピック大会で聴覚障害者陸上アスリートが活躍することで知名度の向上につながり、2020の東京オリンピック・パラリンピックで活躍できる機会を増やしていくために聴覚障害者陸上について知名度の向上・地域の理解促進を図る必要があります。そのため、地域での協働事業も含め、聴覚障害者陸上の理解啓発事業をさらに推進します。また、様々な情報を発信するポータルサイト（ＳＮＳなど）をはじめ、幅広く情報を提供し、多くの方に聴覚障害者陸上の魅力を広めていきたいと思っています。

（３）競技力の向上

聴覚障害者陸上アスリートが第23回夏季デフリンピック大会で活躍することで知名度向上につながり、更に言えば、2020の東京オリンピック・パラリンピックでデフも活躍できる機会が増えてくることを望んでいます。そのため、選手発掘事業を今年度も行うとともに、選手育成・強化にも力を注ぎます。また聴覚障害者陸上の統括団体としての頂上の競技会や強化合宿または練習会等を実施していきます。また、優秀な指導者を配置できるように関係機関などと連携し、コーチ育成強化事業も実施します。昨年度の課題として残ったのはコーチの確保及び配置についてです。短期間または一時的なコーチではなく、常設帯同コーチの確保に努めていかなければならないと考えております。そのためには、資金集めもしくはデフ陸上の魅力を更に高めていくことで、トップの方に顧問及びコーチに重任していくことが重要であると考えている。

（４）２０２０デフスポーツデベロップメントプロジェクトの発足

２０２０年東京オリンピック・パラリンピック（以下、オリパラ）開催に向け、多くの競技団体はすでに多くプログラムを実施し、普及・発展に向け活動を行っている様子を目にします。しかし、デフスポーツが、オリパラに深く関与する機会がほとんどない状況があります。ろう者のスポーツの祭典デフリンピックも日本での認知度は２％程度と大変低く、ろう学校でもオリパラ教育が本年度より実施されているが、使用される読本の中にデフリンピックに触れる記述は少なく、聾学校の生徒ですらデフリンピックのことを深く学ぶ機会がないのが現状です。

こうした様々な課題に対して、デフスポーツ団体が一丸となり、２０２０年に向けデフスポーツの普及、発展を目指し立ち上げました。ぜひ、多くデフスポーツ団体のお力をお借りし様々なプログラムを立ち上げて２０２０年オリパラに向けて、デフスポーツを盛り上げていきたいと考えます。今年度はセイコーゴールデングランプリで光刺激スタートシステムを使用してスタートするエキシビション事業を取り入れていきたいと考えています。

第4回世界ろう者陸上競技選手権大会で小学生・中学生・高校生の部のレースを設ける予定なので、それに向けて小中高生の育成が急務になってきていることも含めて、練習会を多く取り入れていく必要があると考えています。

（５）企業・団体等と障害者スポーツとの新たな連携への支援

助成金を　東京2020オリンピックパラリンピックに実施するデフスポーツデペロッププロジェクトの事業そして第4回世界ろう者陸上競技選手権大会への関心が高まりつつある中で、関係機関・企業・ 団体等からの障害者スポーツへの支援や連携について相談に応じるとともに、情報の提供、企画提案、実施支援を行い、デフスポーツの振興を推進します。

（６）協会の執行体制の強化

事業規模が拡大する中で、確実に事業を推進していくためには、執行機関としての組織、人員配置及び事務所などの運営体制を適切に整備し、協会事務局の体制を強化します。

平成29年度一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会　事業計画（案）

【強化合宿会の開催】

第23回夏季デフリンピック大会及び2018年ユースデフリンピック大会における選手の競技力向上を目的として、関係者と連携のもと合宿及び練習会等の事業を実施します。

事業名	日程	対象	場所
第1回強化合宿	2017年5月4日（木）～6日（土）	強化指定選手	熊谷
第1回リレー強化合宿	2017年6月17日・18日	強化指定選手	日体大
第1回フィールド強化合宿	2017年6月10日・11日（予定）	強化指定選手	国士舘
第2回強化合宿	2017年11月22日～26日	強化指定選手	台湾
第3回強化合宿	2017年12月27日～1月1日（予定）	強化指定選手及び一般選手	サンディエゴ（予定）
第4回強化合宿	2018年2月9日～11日（予定）	強化指定選手及び一般選手	未定
第5回強化合宿	2018年3月26日～31日（予定）	強化指定選手及び一般選手	沖縄

【中学・高校生育成・強化練習会】

2018年ユースデフリンピック大会における選手の競技力向上を目的として、関係者と連携のもと合宿及び練習会等の事業を実施します。

事業名	日程	対象	場所
第1回強化練習会	8月18日（土）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定
第2回強化練習会	9月15日（土）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定
第3回強化練習会	10月20日（土）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定
第4回強化練習会	11月17日（土）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定
第5回強化練習会	12月15日（土）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定
第6回強化練習会	1月19日（土）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定
第7回強化練習会 ユースデフリンピック大会日本代表合宿	2月16日（土） 2月30日（土）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定
第8回強化練習会	3月16日（土） 3月30日（土）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定

【全国聾学校小学生育成・発掘事業】

第4回世界ろう者陸上競技選手権大会で小学生の部のレースを設ける予定なので、それに向けて小学生の育成も急務になってくるということで、今年度から本格的に陸上教室を開催し、発展と発掘に努めていきたいと思います。

事業名	日程	対象	場所
第1回強育成習会	4月30日（日）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	横浜立ろう
第2回育成練習会	5月27日（日）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	大塚ろう（予定）
第3回育成練習会	6月18日（日）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	横浜立ろう（予定）
第4回育成練習会 第5回育成練習会	8月6日（日） 8月27日（日）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	大塚ろう（予定） 横浜立ろう（予定）
第6回育成練習会 第7回育成練習会 第8回育成練習会 第9回育成練習会 第14回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会	9月3日（日） 9月10日（日） 9月17日（日） 9月24日（日） 9月30日（土）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定 未定 未定 未定 大井ふ頭中央海浜公園
第10回育成練習会 第11回育成練習会	10月15日（日） 10月29日（日）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定
第12回育成練習会 第13回育成練習会	11月5日（日） 11月26日（日）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定
第14回強化練習会 第15回強化練習会	12月3日（日） 12月17日（日）	全国聾学及び地域の学校に在籍している聴覚障害者	未定

【2016年度セイコーゴールデングランプリ川崎】【予定】

事業名	日程	対象	場所
~~2016年度セイコーゴールデングランプリ川崎エキシビション事業~~	~~5月21日（日）~~	~~日本代表選手3名及び海外招待選手~~	~~等々力~~

【第14回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会兼第1回ユースデフリンピック大会選考会】

第1回ユースデフリンピック大会に向けて、選手を発掘及び選考し、日本代表選手団を編成し派遣します。

事業名	日程	対象	場所
第14回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会兼第1回ユースデフリンピック大会選考会	9月30（土）	登録者及び一般選手	大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場

【活動の場及び人材（選手）の発掘（普及）事業】

選手の発掘及びその後の継続的な活動へのきっかけ作りを目的として、関係団体・機関と協働で、選手の養成事業を実施します。

事業名	日程	対象	場所
選手の発掘事業	10月20日、21日	全国聾学校陸上競技大会出場者	静岡県草薙
選手の発掘（普及）事業	10月28日（土）	聴覚障害のある陸上選手（中・高校生）及びその保護者と教員	未定

2017アワード

事業名	日程	対象	場所
2017アワード	２月２４日（土）	デフリンピック大会などで様々な成績を残した選手及び指導者	パシフィコ横浜

Ⅵ 諸会議（※3月の総会で、組織体制改革案を出します）

（目的）

選手の強化事業・協会運営を円滑に執行するために以下の諸会議を開催します。

１． 総会の開催

開催；5月・３月及びその他の月

２． 理事会の開催

開催；４月・３月及びその他の月

３． 常任理事会の開催

諸課題を整理し、協議します。

開催；原則月２回

４． 顧問会議

顧問に会務を報告し、意見を仰ぎます。

５． 各種委員会・部会の設置

事業や規程、会員の拡大等、協会の抱える多方面にわたる諸課題について検討していきます。

６． 事業推進委員会の開催

協会の諸課題を解決し、円滑な業務の執行を図ります。

開催；毎月２回

７．予算委員会の開催

予算案・決算報告書の作成にあたって円滑に運営ができることを目的とする。

８．国際大会派遣委員会・選考委員会の開催

国際大会の都度、派遣方針を定める会、選考委員会を選考会前後に行い公平な選手選考を図ります。

９.JPC事業報告書及び会計処理委員会（随時）

平成29年度予算案（別紙）

※黄色で塗りつぶしてあるところは、6月25日の定期総会で追加として報告済み。